



鎌倉市立大船中学校 学校だより 第4号
令和7年10月31日
校長 太田 洋

猛暑が続いた夏も終わり、この10月は一気に秋が深まってきました。2学期中盤ではありますが、学校全体として取り組む大きな行事が一区切りする時期でもあります。大中祭合唱祭、大中祭文化祭、生徒会役員選挙立会演説会を行いました。

それぞれの活動の様子等は、学校ホームページで随時掲載しておりますので、どうぞご覧ください。大中祭のメインテーマでもある「一致団結～共に生きる仲間と共に～」を感じられる場面や子どもたちの意気込みを感じられる姿がご覧いただけたでしょうか・・・

合唱祭前の午後は連日、各クラスで一所懸命に歌う練習風景が見られました。校舎内に広がる歌声に気持ち良さを感じながら歌う生徒たち(^^)徐々にハーモニーを奏でられることで、さらに高まる仲間との思いはかけがえのない空間であったと思います。

文化祭は形態を少し変更し、日頃からの学習活動、文化的活動の成果を発表し、自己の向上意欲を一層高めることを目的に実施しました。8組による恒例の和太鼓演奏に圧倒！熱心に取り組んできた吹奏楽部演奏、その他文化部での活動を振り返る展示発表、有志によるダンスや劇などパフォーマンスや個性的な研究展示、同窓会による卒業生の活躍展示など、見どころがたくさんありました☆

そして、中学校においては世代交代とも言える生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。その冒頭に、生徒に以下のような内容の話を校長の方からしました。

選挙公報をタブレットで確認しながら投票をする様子 →



今年度の選挙には、定員6名に対して12名もの立候補がありました。これは本当に嬉しいことです。立候補した皆さんの勇気と、「学校をもっとよくしたい」という思いに、心から拍手を送りたいと思います。ありがとう！そして、立候補した生徒たち以外にも、立候補を考えて悩んだ人もいるかもしれません。

このように多くの人が手を挙げた背景には、日頃から皆さんが「自分たちのこえを大切にする」ことを意識し、実際に行動してきた積み重ねがあると感じています。たとえば、体操服のシャツインを任意にするかどうかというテーマでは、生徒会を中心に様々な意見を集め、丁寧に議論を重ねてくれましたね。賛成・反対、どちらの立場であっても、相手の意見に耳を傾け、よりよい学校生活を考える姿勢は、本当に立派でした。

学校は、先生たちがつくるものではありません。皆さん一人ひとりが「こうしたい」「こうなったらいいな」と思う気持ちと、それを実現しようとする行動によって、学校は少しずつ変わっていきま

すし、それを先生たちは後押しします。つまり、学校は「自分たちの手やこえでつくる場所」だということです。

今日の選挙によって役員に選ばれた人、残念ながら当選できなかった人、そして応援してくれた生徒の皆さん全員が、これからの学校生活の中の様々な場面において「シチズンシップ」の精神を持ち続けてほしいと願っています。シチズンシップとは、社会の一員として責任を持ち、互いを尊重しながらよりよい環境をつくっていくよう参画していく姿勢のことです。学校という小さな社会の中で、皆さんがその精神を実践していくことが、未来の社会をつくる力になります。

最後に大船中学校の先生たち、そして私校長先生は、これからも皆さんのこえを大切に、行動していく君たちを応援していきたいと思っています。生徒会や委員会活動、学級活動を通して、皆さんと一緒に、さらに素敵な学校を作っていくことを楽しみにしています。

☆部活動サポーター

幾度か学校ホームページや連絡メール等でお知らせしていましたが、9月より鎌倉市会計年度任用職員という立場で本校CS委員・PTA役員・保護者・卒業生や、これまでも外部指導者として携わっていただいていた保護者や地域の方々、勤務外の非常勤教職員など、現在14名の方々にサポートいただいています。市内の学校で最多のサポーター数となっています。

まだ始まったばかりの制度で試行的な部分もありますが、専門性を持ってサポートしていただける方、生徒たちの活動状況を見守っていただける方と役割の違いはありますが、生徒や教職員にとっても、多くの方々にサポートいただけるこのシステムはとても有意義で効果を早くも実感しているところです。

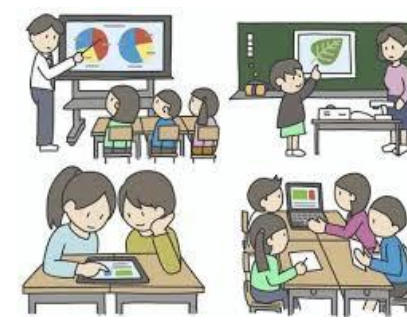


☆学校へ行こう週間

10月20日(月)～23日(木)で、400人超の方々に来校いただきました。地域の方々、保護者、学校関係者、卒業生等の皆様ありがとうございました。

また、21日(火)にはPTA主催の防犯教室、校内フリースペース主催の座談会も開催され、こちらにも足を運んでいただきました(^^)／

来校いただいた方には、本校が取り組んでいる「生徒のこえで創る授業への転



換」を少しでも感じていただけたでしょうか？校長である私も含め、学校の授業というと昔、自分が受けてきた授業が印象としてあることは当然です。ただ、革新的なITの発展など予期できぬ未来へと向かう子どもたちに、どういう資質・能力が必要となってくるのか、困難な状況にも柔軟に対応していこうとする力が身に付いているのか、目先のことだけのことに捉われずに本質的な学びへと自分自身が動き始める、学習者主体の学びへと舵を切り始めています。

先日、連絡メールでも情報提供させていただきましたが、「みんなでつくる豊かな学び」と題して、神奈川県が開催するシンポジウムが11/13(木)にオンライン開催されます。どなたでも申し込みれば参加できます。そして、大船中学校としても今後、生徒たちと共に地域・保護者の方々とも「学び」を核とした座談会(シンポジウム)のようなものができたらよいなあと考えております。

☆最後に・・・

先日、3年生では鎌倉スクールコラボファンドを利用した講演会『Well-being～自己実現と社会貢献～』が行われました。理想の生き方をするためには、何をすることが必要か…グループワークを通して自分自身の価値観を見つめ直していました。11月は1年生で地域探索学習、2年生で職場体験があります。地域のことを深く知っていくとともに、職業観についても体験を通して学びます。

これからの鎌倉・日本の未来を託す子どもたちには、自分自身が関わっていこうとするシチズンシップを大事にするように大船中学校では取り組んでいきます。

